



コロンボ日本人学校 学校便り

アーユ・ボーワン

平成24年10月17日 発行 No.6

失敗を恐れずチャレンジする子 世界一楽しい学校

「美しい姿」

校長 黒澤 秀美

日本人会と共催の大運動会も大成功のうちに無事終わりました。学校では、このあとの主な行事としてアショカカレッジとの交流会、そして、キャンディ・ヌワラエリア方面への宿泊学習（3年生以上）、校外学習（1，2年生）が控えています。子供たちは、行事の中での一つ一つの体験を通し、普段の授業の中だけでは経験することの出来ない、いろいろなことを身につけてくれると確信しています。

ところで、運動会では子供たちのすばらしい姿をたくさん見ることが出来ました。トラック競技で全力を出して駆ける姿。集団演技では、よさこい鳴子踊りで、しっかりとリズムに乗り楽しそうに笑顔を振りまきながら一心に踊る姿、組み体操で歯を食いしばり必死で痛さをこらえている姿など、とても多くの美しい姿を見ることが出来ました。見ていて「ジーンとききました」という声をいくつも耳にしました。大変うれしいことです。また、練習の中でも、上学年の子供が下学年の子供の面倒を見ながら教える姿は、何ともほほえましい姿でした。中学生や上学年の子も、少ない人数の中でいろいろな場面で中心になり、先頭に立たなければならず、それぞれにプレッシャーやストレスを感じている部分も、少なからずあったのではないのでしょうか。千人いても応援団長は一人、10人でも団長は団長、なりやすい反面、必ずしも得手ではない役をやらざるを得ない環境の中で、それぞれ自分の持ち味を生かし、真剣に精一杯、取り組んでくれました。普段何気なく接している子供たち一人一人が、一回り大きく見えました。「美しい姿」とは、単にその姿・形ではなく、ひたむきに一所懸命に取り組む姿ではないかと改めて思いました。そして、一所懸命取り組んでいる、その姿が時に見ている人に感動を与えてくれます。



『誰でも姿形は気になる。でも、人間の一番美しい姿・・・それは一所懸命取り組む姿だ』